

クラス番号	618	担当教員名	寺澤 法弘
テーマ	現代社会における精神保健福祉		
著書・論文	研究課題 精神障害の体験者におけるリカバリーへの支援		
研究課題等			

ゼミナール概要

キーワード：精神保健 P S W リカバリー

<目的、目標>

精神保健分野で活動するソーシャルワーカー(以下、SW)に対して社会から寄せられる期待は大きくなりつつあります。それは単なる退院支援だけではなく、就労、就学等までを視野に入れた、その人の人生全体に対する支援までもが求められてきつつあるといっても過言ではありません。支援の対象も疾患を経験された本人だけではなく、その家族や周囲の人々、環境も含めても対象と考えられてきています。これからのSWには、様々な状況や人に対する関わりができる力が必要といえます。

ゼミでは皆さんが将来SWとして活動することを前提にして様々な状況(人・機会・場)に関わる力を身につけることを最優先に考えます。その為には、1. 状況を見極める力、2. 他者とかかわりを持てる力 3. 自分の考えをまとめて伝える力の3点の修得を目指します。

<方法・計画> (詳細はゼミ生と相談して決めます)

3年次では精神保健福祉に関する様々な体験を通じて、SWの基礎力を身につけること、卒業論文執筆に向けて自身のテーマを得ていくことを目指します。前期ではゼミ生個々による施設見学と事前事後学習をメインとします。夏季休暇中は前期の学びを踏まえて施設見学をゼミ生個々で1ヶ所以上で行います。後期は各自の体験発表の実施、卒論作成に向けて各自が深めたいテーマについての学びをします。

4年次は個々の卒業論文執筆を中心にゼミを運営します。卒業論文については3年次の後期より取りかかり3年次の春休みを有効に使います。国家試験受験対策はゼミ生が手分けして主体的に取り組むことを勧めます。

2年間通じて、全ての場面でゼミ生個々の積極的な取り組みを期待しています。大学外で開催される研修会への参加、施設や家族会の見学、ワークショップ(SST・WRAP)体験、精神科医療機関で開催される行事への企画段階からの参加等も活用して下さい。様々な体験を積むことにより自分の関心のあるテーマを深めましょう。

<使用テキスト>ゼミで必要に応じて伝えます。

担当教員からのメッセージ



今の日本社会では精神疾患を発症することにより、自分の能力を十分に発揮することが難しい社会状況だといえます。しかし「疾患を経験したからこそ体験できる事もある」と精神疾患の体験者は発言し、多くの方がリカバリーの道を歩んでいる事実もあります。疾患の有無だけが問題ではないようです。そんな人々に関わることに喜びを感じる学生を歓迎します。エントリーシートには自己紹介とゼミへの志望動機を具体的に記載して下さい。ゼミの時間は皆さんの積極的な取り組みがなければ、進めません。ゼミでは全員が役割を果たし協力して取り組む機会になることを目指しています。